2003年9月18日 掲載

交遊抄

幸せを運ぶ男

高橋 誠一

「幸せを運ぶ男、西條です」。頑張っている若者に会うと、私は挨拶代わりにそう話しかける。今までの人生経験から、その人が必要とする人材を知っていたり、アドバイスできたりするからだ。

この言葉は、船井財産コンサルタンツ（東京・新宿）の平林良仁社長の口癖をまねしたものだ。二十数年前、不動産関連の仕事を通じて知り合った。実際に優秀な人材が入って業績が伸びるなど、元祖「幸せを運ぶ男」と感じてから、私の社業も順調だ。平林さんが、いろんな人物を引き合わせてくれていることが一因だと思う。平林さんを通じて知遇を得た方は、既に五百人にのぼる。

遠慮せず思ったことを口に出す性格の平林さんは、発想力と行動力に優れた人物でもある。「高橋さん、これはどう思う」。仕事以外の面白い試みなどを次々と私に相談してくる。互いに自分勝手な性格のためか、波長が合うのだろう。

平林さんの発案で三年前に設立したのが日本ビジネス交流協会。経営者がグラスを傾けながら仕事の話ができるサロンで、エイチ・アイ・エスの沢田秀雄社長に理事長を引き受けてもらい、百七十人が参加している。

平林さんといると仲間が仲間を呼び、飽きることがない。今は富士山を世界遺産に登録する方法を考える日々が続いている。（たかはし・せいいち＝三光ソフラン社長）

2008年3月17日 掲載

交遊抄

夢に見る一緒に

水滑 明国

山梨県富士河口湖町で暮らす私の仲間の一人が船井財産コンサルタンツの平林良仁社長だ。二〇〇三年に出会って以来、ご来光を拝みに一緒に富士山に登ったり、水上スキーに興じたりと、一緒によく遊んだ。河口湖でモーターボートを走らせる楽しみを伝えたのも私だと自負している。

平林さんは同町で自然暮らし体験施設「自然楽校」を経営する私のビジネスの師匠、同志でもある。当初は非営利組織（NPO）で運営していた事業を熱心に支援してもらったが、私が会社を興した際に「これからは事業家として見るからね」と宣言された。

新規事業への出資を投